

地域日本語教育の体制づくりに取り組む区市町村等への支援

令和 7 年 1 月 3 0 日
生活文化スポーツ局

財政支援：初期日本語教育への上乗せ補助開始

令和4年度から国の補助制度を活用し、区市町村等の実施する地域日本語教育の取組を支援

➤ 補助制度を活用する区市町村は年々増加

【R4年度】7団体 ⇒ 【R6年度】14団体

➤ 区市町村の取組を更に後押しするために、既存の国の補助1/2に加え、**初期段階の日本語教育の取組に係る経費として、都の補助1/4を新たに上乗せ**

体制整備に取り組む14団体のうち10団体において
日本語教育の専門性を取り入れた初期日本語教育の取り組みを実施

普及啓発：「地域日本語教育のはじめてハンドブック」の配布

- 「体制づくりに取り組めていない」、「地域日本語教育に初めて携わる」という区市町村職員の方に向けた、地域日本語の重要性、他自治体の事例を掲載した**「地域日本語教育のはじめてハンドブック」**を区市町村多文化共生所管部署、国際交流協会等に配布
- 区市町村多文化共生担当連絡会議等でハンドブックの活用方法を周知
- 財団の地域日本語教育コーディネーターが区市を訪問。ハンドブックを直接配布し体制づくりをはたらきかけ



東京都地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

■ 総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターを配置

➤財団内に総括コーディネーターと地域日本語教育コーディネーターを配置し、都と協議して地域日本語教育の体制づくりに取り組むほか、区市町村の体制づくりを支援する。

➤令和6年から新たに配置した地域日本語教育コーディネーター2名が順次、都内の地域日本語教育の現場を訪問。地域日本語教育の実態把握や関係者との意見交換、必要な助言等を行っている。

- 自治体訪問、ヒアリング：17区市
- 国際交流協会訪問、ヒアリング：5区市
- 日本語教室視察、意見交換：18区市（23教室）
- 東京都多文化共生ポータルサイトに日本語教室の紹介記事を掲載
<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/>
- 日本語教室見学会を開催
- 「つながる !!Tokyo ボランティアフェスタ 2025」にブース出展

■ 地域日本語教育コーディネーター連携会議の開催（年2回）

➤地域日本語教育を担当している自治体職員等を対象として、情報共有やネットワークづくりを目的とした会議を開催する。

- 開催日：令和6年7月18日（木）13:30-16:30
- 会場：新宿NSビル3階会議室
- 参加者：45名（補助金利用団体14区市24名 他）
- ゲストスピーカー：神吉宇一氏（武蔵野大学 教授）

参加者の意見（意見交換・アンケートから）

- 他自治体の事業の進め方等について、グループ内でいろいろと質問ができてよかった。
- 参加団体も増え、様々な取り組みを聞くことができてとても参考になった。それと同時に、各区で在住外国人の傾向、日本語教育を取り巻く状況も様々であり単純に他区の真似をすればよいという訳でもないため、日本語教育支援の難しさを改めて感じた。

※第2回連携会議は3月に開催予定。



各区市の事業内容について情報共有



グループディスカッションで意見交換

**令和6年度 地域日本語教育コーディネーター
訪問実績マップ**

訪問実績
 自治体ヒアリング実施 17区市：●
 国際交流協会ヒアリング実施 5区市：●
 教室訪問 23教室：●教室名

自治体ヒアリング実施
国際交流協会ヒアリング実施
教室訪問

17区市：●
5区市：●
23教室：●教室名

東京都地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

■ 地域日本語教育の体制づくり担当者向け研修会の開催

➤自治体職員や国際交流協会職員などを対象として、地域日本語教育の体制づくりについて他地域の事例を共有するための研修会を開催する。

○開催日：令和6年12月18日（水） 13:15-15:15

○開催方法：Zoomウェビナー

○参加者：76名

（区市町村職員22人、国際交流協会職員7名、市民団体18名、その他29名）

○事例紹介者：

練馬区地域文化部地域振興課 箕輪健児氏

（公財）せたがや文化財団国際事業部せたがや国際交流センター 亀井信一氏

福岡県古賀市総務部まちづくり推進課国際交流・多文化共生係 飯尾幸恵氏

参加者の意見（アンケートから）

●練馬区・世田谷区の具体的な事業内容について知ることができ、また、都の目標が各区の事業検討の際に重要な参照先になっていることを知ることができ、たいへん参考になりました。

●「古賀市として地域で何をを目指すのか」というビジョンを明確にして関係者、市民の皆様と共有されていくプロセスが大変勉強になりました。多くの企業に実際に足を運んでお話を聞く、という地道な一步一步を重ねていってほしいことも大変頭の下がる思いでした。今後参考にさせていただきたいと思えます。

■ 日本語教室見学会の開催

➤文科省の補助金を利用して地域日本語教育を実施している自治体職員等を対象として、日本語教室見学会を開催する。見学会では、財団の地域日本語教育コーディネーターが同行し、参考にするポイントなどを説明する。

○訪問先：

①にほんごサロン（港区主催、（一財）港区国際交流協会運営） 令和7年1月18日（土）

②北区日本語教室（北区主催） 令和7年1月21日（火）

③スペース・アイ（ボランティア団体主催） 令和7年1月25日（土）

地域日本語教育の体制づくり 担当者向け研修会

令和元年6月の「日本語教育の推進に関する法律」の公布・施行を受けて、地域日本語教育の体制づくりに取り組む自治体が増えています。そこで、自治体や国際交流協会等で多文化共生事業を担当している方などを対象に、地域日本語教育の体制づくりに関する制度や、自治体に求められる役割について考えるための研修会をオンライン（Zoom）で開催します。

第1部

東京都が進める
地域日本語教育の体制づくり

- ・東京都 事業説明
- ・練馬区 事例紹介
練馬区 地域文化部 地域振興課 箕輪 健児 氏
- ・世田谷区 事例紹介
公益財団法人 せたがや文化財団 国際事業部
せたがや国際交流センター 亀井 信一 氏

第2部

交流型日本語教室を軸とした
多文化共生のまちづくり
（福岡県古賀市）

古賀市 総務部 まちづくり推進課
国際交流・多文化共生係 飯尾 幸恵 氏

外国籍市民数約1,300人の古賀市で交流型の日本語教室を立ち上げたお話を伺います。

日時
令和6年12月18日 水曜日 13:15~15:15

開催形式
オンライン開催（Zoomミーティング）

対象
自治体職員や国際交流協会職員など、東京都内で地域日本語教育の体制づくりに関わる方。
※それ以外の方も傍聴いただけます。

募集人数
80名

申込
以下のフォームにアクセスしてお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/5WTSAbNzgW>
＜締切：令和6年11月30日（土）＞



主催 | 公益財団法人東京都つながり創生財団 共催 | 東京都
【問合せ】 公益財団法人東京都つながり創生財団
多文化共生課 伊藤・渋谷・野末
Tel: 03-6258-1236 Email: nihongo@tokyo-tsunagari.or.jp



日本語教師に質問する参加者

人材育成【日本語学習支援者スキルアップ研修】

■ 地域日本語教育に関する専門研修の開催

➢ 日本語教室で中核的な活動をしている方を対象として、地域日本語教育に関する専門知識を学び、支援者同士の情報交換やネットワークづくりを行う研修を開催する。

○開催日（両日参加）：

【1日目】令和6年11月26日（火） 10:00-15:00

【2日目】令和6年11月28日（木） 10:00-15:00

○会場：新宿NSビル 3 階会議室

○参加者：30名

（区市町村職員5人、国際交流協会職員5名、市民団体18名、民間団体2名）

○講師：嶋田和子氏（アクラス日本語教育研究所 代表理事）

参加者の意見（アンケートから）

●日本語学習支援者のための専門的な内容を学ぶことができました。参照枠やCandoの話など、現場では当然のように使われているのに、なかなか聞く機会がない内容についても知ることができかったです。日本語教育の現状をより広く知り、今後の業務に反映させていきたいと思えます。

●日本語教室での漢字の導入の仕方に悩んでいましたが、この研修に参加してたくさんのヒントがいただけました。講義内容がよかっただけでなく、ワークショップで他の日本語教室が抱えている課題なども知ることができ有意義でした。

■ フォローアップ研修の開催

➢ 専門研修受講者を対象として、受講年度や地域を越えたネットワークづくりと最新情報の共有を目的としたフォローアップ研修を開催する。

○開催日：令和7年2月6日（木） 14:00-16:00

○会場：新宿NSビル 3 階会議室

○講師：嶋田和子氏（アクラス日本語教育研究所 代表理事）

令和6年度 地域日本語教育に関する専門研修
～新たな社会の動きの中で、日本語教室の可能性を考える～

日本語教室の学習者も地域社会にどう貢献できるか？
他の教室はどうしている？
自分たちのネットワークをどう活かす？

東京都内の日本語教室で活動されている支援者の方を対象として、「地域日本語教育に関する専門研修」を開催します。令和元年に「日本語教育の促進に関する法律」が公布・施行されてからの国や東京都の動きを知り、支援者同士のネットワークも作りましょう！

全体監修 | 嶋田 和子 氏 アクラス日本語教育研究所 代表理事
日本語教育は社会インフラとなり、地域日本語教育のニーズも高まる一方で、そこで、新たな社会の動きを知り、その中でどのような教室づくりを目指していけばよいのかについて一緒に考えていきたいと思います。同時に、日本語教室における学習者との向き合い方についても、漢字学習などを取り上げながらお伝えしていきます。
学び合いの中で、新たな「仲間づくり・ネットワークづくり」を目指しませんか。

開催日時 令和6年11月26日（火）・11月28日（木） 10:00-15:00
会場 新宿NSビル 3階会議室（東京都新宿区西新宿2-4-1）
対象 東京都内の日本語教室で中核的な活動をしている方で、2日間とも参加できる方
※自治体や国際交流協会等が地域日本語教育に関わる方も参加可能です。
※初めて受講する方を優先させていただきます。
人数 30人（申込多数の場合は選考）
参加費 無料

申込 右のフォームにアクセスしてお申し込みください。
<https://forms.office.com/jjTVW8SDPKY>

締切 令和6年10月31日（木）

主催 | 公益財団法人東京都つながり創生財団・東京都
【問合せ】 公益財団法人東京都つながり創生財団
多文化共生課 伊藤・渋谷・野末
Tel: 03-6258-1236 Email: nihongo@tokyo-tsunagari.or.jp



グループで地域の課題について検討

■ 東京日本語教室サイトの運営

➤日本語を学びたい在住外国人や、ボランティア希望者が日本語教室を探すことができるように、「東京日本語教室サイト」の運用を行う（令和3年12月オープン）。

➤令和6年度に120言語に多言語化し、学習希望者が母語で日本語教室を探すことができる。



- 日本語教室掲載数：**286教室**（令和6年度12月末時点）
- アクセス数：**373,474件**（令和6年4月～12月）※令和5年度から**1.5倍**
- メールフォームを利用した日本語教室への問合せ：**5,220件**（令和6年4月～12月）※令和5年度から**2.6倍**

■ 日本語教室紹介動画の作成

- 日本語教室を知らない在住外国人や、ボランティア希望者を対象に、日本語教室や東京日本語教室サイトの周知を図るための説明動画を作成する。
- スマートフォン等を利用して母語で情報収集する在住外国人が多いことから、SNS用のショート動画も作成し、多言語字幕を付けて発信する。



※東京都が開催する「つながる !!Tokyo ボランティアフェスタ 2025」にブース出展し、日本語教室での支援活動について紹介

開催日時：令和7年2月24日（月祝） 11:00から16:00まで

参加費：無料

開催場所：東京国際フォーラム ロビーギャラリー

URL：<https://www.tokyo-vfesta2025.metro.tokyo.lg.jp/>

日本語教室はどんなところ？
どうやってボランティアを始めたらいいい？
地域日本語教育コーディネーターに
ご相談ください！